

総務委員会

視察日 平成27年10月19日～21日
視察先 鳥取県米子市、
島根県出雲市、雲南市、大田市

人口減少対策の取り組みについて

◎米子市では、「米子がいな創生総合戦略（米子市人口ビジョン及び米子市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」を策定され、2060年に12万8千人以上を維持する目標を立てられています。人口の現状分析から見た人口減少を抑制するためのポイントとして、「出生数の増加」「山陰両県以外からの移住者の増加」を掲げられており、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育てへの環境整備や雇用の場の確保のための企業誘致の支援などに取り組まれています。

雇用創出

2000人プロジェクトについて

◎出雲市では、平成24年度を初年度とし平成33年度を目標年度とする10年間の出雲市の総合振興計画（出雲未来図）を策定されました。この計画は、4つの

行政視察報告

地域包括ケアシステムについて

◎たつの市では、国のモデル事業として「認知症初期集中支援チームによる訪問・支援」を平成26年度から本格実施し、認知症の専門知識を持つ保健師、看護師、精神保健福祉士等でチームを組み、家庭訪問後、6カ月で方向性を決め必要な医療や介護サービスへとつないでおられます。また、入院から在宅へスムーズにケアが移行できるように入院時調整ルールづくりにも取り組まれています。

介護予防・日常生活支援総合事業

について

◎浅口市では、元気な高齢者の介護予防、生きがいづくり、要支援・二次予防事業対象者の在宅支援のためのサポーター養成による介護予防の推進や共に支え合う地域社会の構築を目的とした「高齢者支え合いサポーター事業」に取り組まれています。ケアプランに基づいた30分以内の軽微な支援を行い、活動回数に応じた交付金を受け取ることができます。

戦略プロジェクトで構成されており、その中の1つが雇用創出200人プロジェクトです。

雇用創出2000人プロジェクトは、企業誘致や起業家支援に積極的に取り組むとともに、福祉や介護、農林水産業など幅広い分野の人材需要を掘り起こし、就業ニーズに対応した多様な就業機会の確保に努めることにより、10年間で2000人の新たな雇用創出を目指すものとなっています。



出雲市で説明を受ける
総務委員

定住施策の取り組みについて

◎雲南市では、定住促進に伴う各施策を展開されており、施策の3つの柱として、「定住推進員・定住企画員制度」「空き家活用」「地域との協働による定住促進」

文化財を活かした

まちづくりについて

◎倉敷市の美観地区では、昭和30年代後半に行政・住民主体による町並み保存運動の機運が高まり、数々の積極的な保存対策が講じられてきており、現在は町家や白壁の土蔵等がギャラリーや土産物屋等として利用されています。

産業建設委員会

視察日 平成27年10月28日～30日
視察先 岐阜県高山市、各務原市、
愛知県常滑市、
飛騨産業株式会社

産業振興計画について

岐阜県高山市の「産業振興計画」における家具関連産業への主な支援策では、「飛騨高山ブランド振興事業補助金」として、ブランド展開のための事業費や、展示会開催、見本市への出展、IT活用により販売力強化を行うシステム開発などの地域ブランド確立に要する経費を一部補助されています。昨年度は、シンガポールでのインテリア見本市、イタリアミラ

を掲げられ、UIターン者の確保等、定住促進事業に取り組まれました。

定住促進の取り組みについて

◎大田市では、平成21年度に「おだ定住支援センター」を設置し、定住推進員の配置を行い、「空き家バンク制度」や「定住奨励事業」などに取り組まれ、平成24年度までに88世帯、224人の定住者を確保していました。また、民間の出版会社が発行しています月刊誌の中で実施された『2015日本「住みたい田舎」ベストランキング』において、大田市が総合1位に選ばれたとことであります。

文教厚生委員会

視察日 平成27年10月21日～23日
視察先 兵庫県小野市、たつの市、
岡山県浅口市、倉敷市

16か年教育との検定について

◎小野市では、「おの夢と希望の教育」と銘打って、東北大学の川島隆太教授を教育行政顧問に招き、脳



高山市で説明を受ける
産業建設委員

ノでの家具見本市、東京ビッグサイトでの家具見本市の事業費に対し、一部補助されています。

各務原ブランド推進事業について

◎岐阜県各務原市の「各務原ブランド推進事業」の中で「ブランド戦略ビジョン作成事業」として、真の価値を発見する戦略プランを今年度に策定予定です。また、「地域CM制作ワークショップ事業」として、市民企画のCMで各務原のPRを行い、知名度アップを図られています。さらに、「地域映画誘致事業」として、本市同様、「第7回沖縄国際映画祭」で上映されています。そのほか「かみかみはらCM」の映像をタペストリーにした「どこでもタペストリー事業」、若年層の住宅取得の

科学理論に基づき脳の前頭前野を鍛えることに重点を置いた16か年教育の推進がなされています。また、「おの検定」という独自の検定により、学力面、体力面の両方の向上に向けてチャレンジ精神を養い、基礎学力、基礎体力アップを目指されています。

介護支援ボランティア事業について

◎たつの市では、高齢者が地域貢献し、社会参加の促進を図ること、健康増進や介護予防を推進することを目的とした「介護支援ボランティア事業」に取り組まれています。介護保険施設等で配膳下膳の補助、散歩・外出の見守り等自分にできる活動を行い、実績に応じた交付金を受け取ることができます。



たつの市で説明を受ける
文教厚生委員

地場産業の振興策について

支援を行う「わくわく定住奨励金交付事業」や「ふるさと納税啓発事業」が行われています。

◎愛知県常滑市の「地場産業（常滑焼）の振興策」は、「常滑市やきもの散歩道地区景観条例」の推進を行い、やきもの散歩道の景観保全を目的に、一般財団法人間都市開発推進機構の住民参加型まちづくりファンド支援事業の資金と常滑市陶業陶芸基金を活用し、レンガ煙突や建物の外壁などの修繕費を助成されています。

また、「常滑焼のブランド力向上させる取り組み」として、全国公募の長三賞常滑陶芸展（隔年）・長三賞常滑陶業展（隔年）を開催し、常滑のブランド力向上を図られています。さらに、「地産地消の推進」では、議員提案により、常滑焼の器に注いだ地酒による乾杯を推進する条例を施行され、常滑焼及び地酒の普及を図り、日本文化の理解を促進されています。そのほか、常滑焼の海外販路開拓及び海外市場調査の戦略的な取り組みを支援するための補助がなされています。